

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：八幡市

重点目標	<p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題 人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進 地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成 みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進 活力あふれる人がつどう交流のまちづくりの推進 健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p>		
	事業群	構成事業名	
次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまち ～子育て、教育、文化芸術振興～（事業群 b）		男山レクリエーションセンター整備事業	
		教育研究開発事業	
		さつき近隣公園テニスコート改良事業	
		放課後児童健全育成施設整備事業	
		公園等遊具改良事業	
		図書教育支援事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>○男山レクリエーションセンター整備事業 身障者対応のベンチ、駐車場、トイレ等の整備も併せて行うことで、バリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進を図り、公園機能を充実させた。</p> <p>○教育研究開発事業 携帯ゲーム機を利用したモジュール学習を行うことにより、生徒が楽しみながら学力を向上させることが出来た。</p> <p>○さつき近隣公園テニスコート改良事業 降雨後の排水状況の改善により、コート整備時間が短縮され利用者の利便性が向上した。</p> <p>○放課後児童健全育成施設整備事業 児童一人あたりの生活スペースが大きくなり、指導員の目も行き届くようになったので児童の健全な育成を充実できた。</p> <p>○公園等遊具改良事業 公園遊具の点検、改良工事を行うことにより、子ども達が安心して遊べる公園を提供することが出来た。</p> <p>○図書教育支援事業 図書事務の効率化を図り、利用しやすい図書室を実現したことにより児童の学習意欲が向上した。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		男山レクリエーションセンター整備事業			
事業の概要		<p>自然、歴史、文化等の特性を活かしながら、幅広い世代が「憩いの場」として利用できる地域交流拠点、そして広域的にも集客力のある公園として市民や来訪者の交流の場としての機能を強化するため多目的コート等の整備工事を行った。</p> <p>男山レクリエーションセンターリニューアル事業 多目的コート・園路整備工事 コート整備 950.5㎡ ネット工 128m コート照明工 6基 照明工、園路舗装、給排水設備、ベンチ他 冒険広場整備工事 複合型遊具及び健康器具設置 一式 芝敷設工 1,346㎡ 東屋・ベンチ設置 下水道管敷設工事 延長 297.4m</p>			
	事業期間	平成21年10月30日～平成22年3月26日			
	総事業費	245,054千円	本年度事業費	121,192千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	スポーツに親しむ市民等の利用定着を推進し、世代間の交流をはじめ市外よりの来訪者とのふれあいの場を提供することが必要である。			
	事業の有効性	自然環境との調和を図りながら、子どもから大人までが健康増進に努め、交流の拠点となる「憩いの場」として男山レクリエーションセンターを整備することで、市民が住みよいまちづくりの推進となる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 身障者対応のベンチ、駐車場、トイレ等の整備も併せて行うことで、バリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進を図り、公園機能を充実させた。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		教育研究開発事業			
事業の概要		<p>本市の教育研究開発事業は、平成19年度に京都府が文部科学省より委託を受け開始した事業で、平成20年度は、文部科学省より八幡市が委託を受け継続研究開発として進めています。内容は、携帯ゲーム機を利用したモジュール学習であります。</p> <p>本市ではこの研究開発事業の一環として、市独自で研究実績の資料精度を高めるため、小中学校全校で取組みを行い、研究では終わらず継続していくために携帯ゲーム機の購入を行った。</p> <p>ニンテンドーDSi 450台 7,796,250円</p> <p>八幡小学校 89台、さくら小学校 105台、橋本小学校 134台、美濃山小学校 122台</p>			
		事業期間	平成21年11月20日～平成21年12月31日		
		総事業費	7,796千円	本年度事業費	7,796千円
事業評価	事業の必要性	生徒、児童の学力向上の方法の一つとして教育研究開発を取り入れるため必要である。			
	事業の有効性	生徒、児童の学力向上。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 携帯ゲーム機を利用したモジュール学習を行うことにより、生徒が楽しみながら学力を向上させることが出来た。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		さつき近隣公園テニスコート改良事業			
事業の概要	<p>自然、歴史、文化等の特性を活かしながら、幅広い世代が「憩いの場」として利用できる地域交流拠点、そして広域的にも集客力のある公園として市民や来訪者の交流の場としての機能の強化を図るためテニスコートの排水改良工事を行った。</p> <p>さつき近隣テニスコート整備事業 テニスコート排水改良工事 改良工事を実施することによりスポーツとのふれあう機会の拡充を目的に暗渠排水敷設及びコートの路盤改良を行った。</p> <p>150mm污水管布設工 157.7m、200mm污水樹設置工 16個所 U型側溝設置工 105m、150mm排水管布設工 2m 集水樹設置工 2個所</p>				
	事業期間	平成22年1月15日～平成22年3月19日			
	総事業費	1,851千円	本年度事業費	1,851千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	既存の排水施設の排水状態が悪く、降雨後の使用に支障をきたしているため改良する必要がある。			
	事業の有効性	コートの改良により、利用者の利便を図り利用を促進する。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 降雨後の排水状況の改善により、コート整備時間が短縮され利用者の利便性が向上した。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		放課後児童健全育成施設整備事業				
事業の概要		平成19年10月19日付で厚生労働省より通知された放課後児童クラブガイドラインの中で、1放課後児童クラブの規模については最大70人までとすることとされている。規模が70人を超える放課後児童クラブが無くなるように施設整備を行った。				
	整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋機能変更工事 現行図書室を児童クラブ室に、和室を図書室に変更する工事 ・パーティション固定工事 				
	備品購入	掲示板 2台、大型石油ストーブ 4台、食器棚 6台、会議用机 9台 対面テーブル 24台、折りたたみ椅子 6台、折りたたみテーブル 2台 教室用可動椅子 190台、冷蔵庫 4台				
	事業期間	平成21年12月28日～平成22年3月31日				
	総事業費	5,518千円	本年度事業費	5,518千円	交付金交付額	1,700千円
事業評価	事業の必要性	「放課後児童クラブ」を「生活の場」としている児童の健全育成を図るために、放課後児童クラブの質を向上させる必要がある。				
	事業の有効性	1放課後児童クラブの規模を最大70人とすることにより、児童一人あたりの生活スペースが大きくなり、指導員の目も行き届くようになるので児童の健全な育成が充実される。				
	事業の効率性					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 児童一人あたりの生活スペースが大きくなり、指導員の目も行き届くようになったので児童の健全な育成を充実できた。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		公園等遊具改良事業					
事業の概要		公園・遊園に配置された遊具による事故が全国各地で発生している為、専門家による定期点検を行い、劣化の激しい遊具を整備し安心して暮らせる安全で快適なまちづくりに努めた。					
		ブランコ設置工 2基、ブランコ境界柵設置工 3基、ジャングルジム設置工 1基 スベリ台設置工 12基、鉄棒設置工 2基、スプリング遊具設置工 2基 人口芝設置工 24㎡、小型構造物人力打設 6.34㎡、基礎砕石工 2.76㎡ 埋戻し 22.34㎡、残土処分 9.06㎡、建設廃棄物処分(金属くず) 3.58ton コンクリートガラ処分 6.84㎡					
		事業期間	平成22年1月8日～平成22年3月19日				
		総事業費	11,329千円	本年度事業費	11,329千円	交付金交付額	3,900千円
事業評価	事業の必要性	点検結果を反映した整備を早期に行うことで、公園における安全性を迅速かつ確実に確保できる。					
	事業の有効性	公園機能の強化に努め、安全対策を確実に実行していくことで、安心して暮らせる快適なまちづくりの推進となる。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
		6 その他の成果 公園遊具の点検、改良工事を行うことにより、子ども達が安心して遊べる公園を提供することが出来た。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		図書教育支援事業					
事業の概要		全小中学校に図書館システムを導入し、図書事務の軽減を図ると共に、読書傾向の統計作成等により、図書教育の改善を図った。 導入校:小学校7校、中学校4校 (橋本小学校はPTA寄付により既に導入済。八幡第四小学校は来年度統合予定のため導入なし)					
		事業期間	平成21年9月1日～平成22年3月31日				
		総事業費	4,769千円	本年度事業費	4,769千円	交付金交付額	2,280千円
事業評価	事業の必要性	児童の本離れを防ぐために、利用しやすい図書室を実現する必要がある。					
	事業の有効性	学習意欲の向上や、学習効率のアップが期待できる。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 図書事務の効率化を図り、利用しやすい図書室を実現したことにより児童の学習意欲が向上した。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。